

## ～ブックスタートのご案内～

箕面市では、4か月児健康診査の際にお子さんと保護者の皆さんに、絵本を楽しむ体験と絵本を1冊プレゼントする取り組みを行っています。

これは「ブックスタート」という活動の一環です(裏面参照)。

絵本のプレゼントは、すべての赤ちゃんと保護者のかたに、絵本を通して楽しいひとときを過ごしていただくことを願う、市民のかたの寄付によるものです。

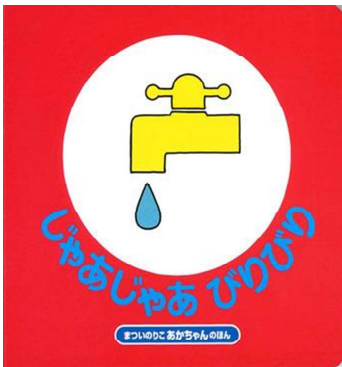
お子さんとあたたかい絵本のひとときを楽しんでみませんか。

### 📖お渡しする絵本(いずれか一冊)

以下の三冊から、お選びいただいた絵本をプレゼントします。

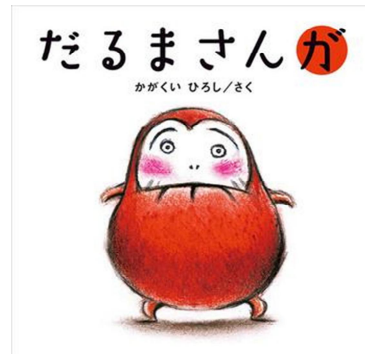
#### 📖 『じゃあじゃあびりびり』

まついのりこ/作(偕成社)



#### 📖 『だるまさんが』

かがくい ひろし/作(ブロンズ新社)



#### 📖 『いないいないばあ』

松谷みよ子/作・瀬川康男/絵(童心社)



#### 【お問い合わせ先】

〒562-0003 箕面市西小路 4-6-1

箕面市教育委員会

子ども未来部 子どもすこやか課

TEL:072-724-6768 FAX:072-721-9907



## 赤ちゃんとは本のひとときを Share books with your baby !

ブックスタートは一人ひとりの赤ちゃんに  
絵本を楽しむ「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。  
イギリスで始まり 日本でも市区町村の事業として 全国に広がっています。

### ● 赤ちゃんとは本のこと Q&A ●

#### Q 赤ちゃんに絵本がわかるの？

A 赤ちゃんは、おはなしの内容はまだわからないかもしれませんが、でも、絵本の絵やことばのリズムなどを楽しんでいます。

赤ちゃんにとって絵本は、読む(read books)ものではなく、読んでくれる人と一緒に楽しむ(share books)もの。大好きな人が、抱っここのぬくもりの中でやさしくことばをかけてくれる……。そんなひとときが、赤ちゃんはうれしくて心地よいのです。

#### Q 絵本をただめくって遊んだり、なめたりしてしまいます。

A 赤ちゃんは、身近なものをさわったりなめたりしながら、それが何であるかを確かめます。絵本とおつきあひもそんなことから始まり、やがて誰かに読んでもらう楽しさに気づいていくのです。

たくさん楽しんだ絵本は家族の思い出。お子さんが大人になった時に、プレゼントしても素敵ですね。

#### Q 絵本選びに迷う時は？

A 絵本を選ぶ時は、お子さんと保護者の方の「好き！」という感覚をどうぞ大切に。図書館のおすすめの絵本を読んだり、おはなし会に出かけたりすることも参考になります。

お子さんと一緒に、お気に入りの絵本を見つけてみてくださいね。

#### Q 絵本を読んであげる余裕がありません。

A 忙しい毎日の中で、絵本を「読まなくちゃ」と思うと、楽しみではなく負担になってしまいますよね。絵本は赤ちゃんとのコミュニケーションツールのひとつ。無理に「毎日」「全ページ」読まなくてもいいんです。

ほんのひととき、赤ちゃんとゆったり過ごしたいな……。そんな気分の時に絵本をひらいてみませんか？

2分でわかる動画

「赤ちゃんといっしょにえほん」

